

## 1 4. 局所麻酔

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うこと（局所麻酔）の説明ができる
- ・ 麻酔時の不快事項の対応について十分に問診できる
- ・ 麻酔時に確認すべき患者の既往歴を問診できる
- ・ 局所麻酔の準備ができる
- ・ 刺入点の消毒が正しくできる
- ・ 刺入点に表面麻酔剤を正しく塗布できる
- ・ 注射器に麻酔薬カートリッジと注射針を正しく装着できる
- ・ 注射器を術者に適切に渡せる
- ・ 安全に注射針のリキャップが行える
- ・ 注射後の患者の変化を確認できる
- ・ 麻酔対象の神経の走行範囲を念頭に置き、奏効状態を確認できる（下顎孔伝達麻酔では処置側の下唇の麻酔で奏効を確認できる）

### <設定場面>

患者は右下 7 番の冷水痛を主訴に来院した。象牙質う蝕と診断し、本日局所麻酔下で治療する事となった。浸潤麻酔を行い、奏効がよくなければ伝達麻酔を追加する予定である。

### <治療手順>

#### 1. 患者の誘導と処置前の洗口 必要器材：口腔洗淨・含嗽剤

歯科医師：衛生士（助手）に患者の誘導と今日の治療内容の説明、洗口を指示する。

衛生士（助手）：患者をチェアに誘導し、処置内容と麻酔の必要な事を説明して同意を得る。

患者に洗口をしてもらう。

#### 2. 麻酔のための按頭台の調節

歯科医師：衛生士（助手）に按頭台の調節を指示する。

衛生士（助手）：按頭台の調節をする。



注射器の指かけを押しカートリッジのゴムに矢尻をしっかりと押し込む。

ついで注射針をキャップごと注射器の先端にねじ込む。

注射針のキャップについてマークで針先の角度が判るので、  
刺入時の角度を考慮に入れ、術者の手に確実に入れる。

歯科医師：注射針を注射部位に刺入し、ゆっくり麻酔薬を注入する。

衛生士（助手）：患者に洗口を促して、奏効まで待つ旨を説明する。

麻酔が奏効するまで患者の様子を確認する。（顔色、呼吸など）

歯科医師：奏効を確認して、助手に後片付けを指示する。

助手：後片付けをする。

## 1 4. 局所麻酔

必要器材

- ①口腔洗淨・含嗽剤 ②表面麻酔剤 ③ヨードチンキ綿球
- ④注射器（カートリッジ浸潤麻酔用、カートリッジ伝達麻酔用）
- ⑤ディスポーザブル注射針（浸潤麻酔用 30G ショート、伝達麻酔用 27G ロング）
- ⑥歯科用局所麻酔剤（カートリッジ式キシロカイン、カートリッジ式シタネスト）